



平成29年12月18日

第24回稚内開発建設部総合評価審査委員会の 審議概要について

平成29年11月22日（水）に開催した、第24回稚内開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせいたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

技術管理課 課長 さとう しげかず 佐藤 茂一 電話 0162-33-1031

技術管理課 課長補佐 はた せつお 羽田 節雄 電話 0162-33-1086

稚内開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>



第 2 4 回 稚内開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 2 9 年 1 1 月 2 2 日（水） 浜頓別町		
委員 長 委 員	○萩原 亨（北海道大学大学院教授） 井上 京（北海道大学大学院教授）		（○印は委員長）
議事	<p>1 平成29年度上期総合評価落札方式（工事・業務）の実施状況について</p> <p>2 個別審議</p> <p style="margin-left: 20px;">抽出工事の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道40号 幌延町 幌延IC改良工事 ・一般国道40号 幌延町 幌延改良工事 ・サロベツ地区 豊徳地域農地保全工事 <p style="margin-left: 20px;">抽出業務の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稚内開発建設部管内 電気通信工事監督支援業務 ・香深港外4港 波浪推算その他業務 ・稚内開発建設部管内 道路整備効果調査業務 		
委員からの意見・質問、それに対する回答等			
意 見・質 問	回 答		
<p>個別審議</p> <p>抽出された工事3件、業務3件について概要説明及び審議を行った。（以下、応札者の提案又はその評価に係る内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません）</p> <p>①一般国道40号 幌延町 幌延IC改良工事 一般国道40号 幌延町 幌延改良工事 （施工能力評価型Ⅰ型 一括審査方式）</p> <p>・一括審査方式の制度は、どのようなものか。</p> <p>・工事の留意事項を記載する様式の質問が明確で、わかりやすい。技術提案も質問に合致した内容となっている。</p> <p>②サロベツ地区 豊徳地域農地保全工事 （施工能力評価型Ⅰ型）</p> <p>・工事箇所が点在となる理由はなぜか。</p>	<p>・一括審査方式は、2つ以上の工事で工事目的、内容が同種で業種区分、等級が同じ工事、施工区域が近接する工事について、技術提案の内容を同一とし一括審査するものであり、受発注者双方の負担軽減を目的として、平成26年度から試行しています。</p> <p>・各農家の営農に支障とならないように工事するため点在となっています。</p>		

・広い農地で工事するため、ICT施工が導入しやすいと思うが、ICT施工は導入しないのか。

③稚内開発建設部管内 電気通信工事監督支援業務
(総合評価落札方式)

・本業務における評価テーマはどのような考えに基づき設定したのか。

・留意点が明確となるよう、地域特殊性や工事条件等の設定が望ましい。

④香深港外4港 波浪推算その他業務
(簡易公募型プロポーザル)

・参加者からの提案に対し、実施フロー及び工程表の考え方についての確認。

・参加者からの提案に対し、着目点等に関する的確性の評価の考え方について確認。

⑤稚内開発建設部管内 道路整備効果調査業務
(標準プロポーザル)

・参加者からの提案に対し、着目点等に関する的確性の評価の考え方について確認。

・参考見積額の評価はどのように行っているのか。

【上記工事・業務について適切な評価と認める】

・管内の農地の大部分が泥炭土で、埋木等の障害物が多くICT施工が難しい状況。出来形管理における計測ではICT活用が行われています。

・本件の業務内容は工事監督支援であり、主として行う施工状況等の把握手法をテーマとして設定しました。

・意見・質問に対して回答し、了解を頂いた。

・意見・質問に対して回答し、了解を頂いた。

・意見・質問に対して回答し、了解を頂いた。

・業務コストの妥当性として、参考明示した業務規模との乖離がある場合や提案内容に対し、見積が不適切な場合は特定しません。

以上